

放課後等デイサービス アイリスバリー1号店における自己評価結果

公表日 令和8年 3月 1日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		スペースや運動内容を考えて、小人数のグループに分けて運動活動を行っています。	運動の部屋がもう少し広いとっと良いとおもいます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		「勉強や課題をする部屋」、「リラックスする部屋」、「運動する部屋」と活動ごとに部屋を分けています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		整理整頓、清掃を毎日行い、換気や消毒なども感染症対策も行っていきます。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		着替えの際に部屋を分ける工夫をしています。	事務室を使用する場合もあるので更衣室が欲しいです。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		ミーティングや全体会議を定期的に行っており、職員みんなで意見交換をしたり共有できるようにしています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		全体会議で機会を設けて、共有を行っている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		ミーティングや全体会議時に、職員みんなから意見を集めたり、アンケートの実施をして意見を集めています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	1・2号店それぞれお互いの評価結果を全体会議で話し合い、業務改善につなげています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		今年度はジョブモデルアカデミーを利用してオンラインでの研修を各自で行い資質の向上を目指しました。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		HPにて公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		モニタリング時にご家庭やお子様の近況やデイへの要望をお聞きして発達課題を考えています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		ミーティング時に、モニタリング等で聞き取った情報を共有したりしながら、子どもの支援について職員みんなで検討している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援の方向性が決まったら、職員みんなで共有し、連携して支援にあたっています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		WISCなどを用いたアセスメントを行い、支援に活かしていけないかを検討しています。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		リーダーを交代制にすることで、リーダーのカラーが出た活動内容になっています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎日、職員みんなでミーティングを行い、その日の支援内容や役割分担について確認をしています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援終了後に打ち合わせを行い、次の日のミーティングで支援の振り返りや気づいた点を職員みんなで共有しています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		ガイドラインの確認を行い、ガイドラインに沿った支援を行っています。		
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		子どもに選ばせる場面を作り、選ぶことができないときは数を絞って選びやすくしています。		
26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5				
27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	☆（共通回答）相談支援委員会や保護者さんを通じて行っています。		
28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校の送迎時に担任の先生との情報共有を行うようにしています。		

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		☆	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		☆	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	☆	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		学校休業日には、地域の公園や施設に出かけ、地域の中で過ごす活動を計画しています。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		子ども部会に定期的に参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			送迎時などにお子様の様子などを伝えたり、家庭の様子をお聞きしたりして情報交換・共有を行っています。電話やLINEでの対応をしています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			年に2回、保護者同士の交流会(ママカフェ)を開催しています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			契約時に説明を行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			面談や電話での丁寧な対応を行い、迅速な対応ができるようにしています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			年に2回、保護者同士の交流会(ママカフェ)を開催しています。 きょうだい向けの会の開催には至っていません。今後、検討していきたいを思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			丁寧な対応を行い、迅速な対応ができるようにしています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			HPやブログ、LINEなどを利用して発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			職員に対しては研修訓練をおり、保護者の方に対しては年度はじめに紙面での周知を図っています。 紙面だけでなく、HPやLINE等での周知も考えていきます。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			火災や地震については、年に2回ずつ訓練を行っています。あわせて、研修も行っていきます。 年間計画を立てて、計画的に行っていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			契約時やモニタリング時に確認しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			契約時やモニタリング時に確認しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		ブログやLINE等での周知も考えていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			虐待や身体拘束についての研修を行っています。
54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	5			年間計画を立てて、計画的に行っていきます。	
55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			契約時に説明を行い、放課後等デイサービス計画に記載しています。	

○事業所名	アイリスバリー			
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 16日		～	令和8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 16日		～	令和8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況を保護者と伝えあい、こどもの健康や発達状況について共通理解をしている。	モニタリングや担当者会議などを定期的に行い、お子様に関わる人たち集まり、お子様の様子や状況などの情報共有を行っています。また、送迎は指導員が行い、その日のお子様の様子をお伝えしたり、活動の様子を写真でお伝えしています。	連絡帳やLINEなどのツールを有効に使いながら、より保護者さんがコミュニケーションを取りやすい環境にしていきたいです。
2	家族に対して家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われている。	年に2回、保護者向けにママカフェを行っています。今年度は、父親からみた子育てについて保護者さんからお話を聞いたり、子育ての悩み(スマホ、ゲームの使用の仕方など)を話し合うグループワークを行いました。	今後もママカフェを定期的に行い、研修会やグループワークなどのかたちで、子どもへの関り方や進路進学の流れなどいろいろなテーマを扱っていききたいと思います。
3	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫している。	職員みんなでミーティングを行い活動プログラムを話し合っ決めていきます。活動のリーダーを交代制にして、それぞれのリーダーの個性がでるようにしています。活動後もミーティングを行い次の活動に活かせるようにしています。	保護者さんからのご要望をお聞きしたりしながら、ニーズに応えられるようにしていきたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の設備等の障害の特性に応じてバリアフリー化や情報伝達等への配慮が不十分	事業所が2階にありエレベーターもないのでバリアフリーにはなっていません。また、施設内も老朽化が気になるところがあります。	壁やドアなどは修繕修復をしています。移動の際には指導員がついて対応したり、きれいに環境を整えたりしながら安心して過ごやすくしていきます。
2	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の保護者への周知・説明が不十分。また、訓練等の実施報告が不十分。	年度初め保護者向けにプリントを配布して、それぞれのマニュアルの周知を図ったり、避難訓練(火災・地震)を4回行ったりしていますが、なかなか伝わっていませんでした。	送迎時やLINE等で直接お伝えできるようにしていきます。
3	保護者同士の交流の機会やきょうだい同士の交流の機会が十分に設けられていない。	年に2回ママカフェを行っています。日時の調整が難しく参加者が限られてしまいます。ママカフェの内容も保護者向けのテーマが多くなっています。	参加しやすい日時やテーマなどの希望を取ったり、今後は、きょうだいのテーマを扱ったりすることも検討していきます。